

rtk_kernelのビルド環境

ARMクロスコンパイラ

作者が確認した環境、GCCのバージョンは多少異なっても大丈夫と思う。
尚、makeとperlコマンドが使えるようにしておく必要がある。

Windows msys2

- Windows10 Pro x64 ver1903
- [msys2](#)
- [GNU ARM Embedded Toolchain 6 2017-q2-update](#)

インストール手順は「[🔗msys2ARMのGCCコンパイル環境を構築する](#)」記事を参照。

Mac

- macOS v10.14.6 Mojave
- [GNU ARM Embedded Toolchain 8-2018-q4-major](#)

インストール手順は「[🔗macOSARMのGCCコンパイル環境を構築する](#)」[brewから公式GNU Arm Embedded Toolchainをインストール](#)」記事を参照。

Linux

- [Ubuntu 18.04 LTS Server](#)
- [gcc-arm-none-eabi package in Ubuntu 6.3.1 20170620](#)

インストール手順は「[🔗Ubuntu 18.04 LTS ServerARMのGCCコンパイル環境を構築する](#)」記事を参照。

Windows10 WSL

Windows10のWSL(Windows Subsystem for Linux)は、基本的にはLinuxコンソールなのでコンパイル手順は上記Linuxと同様。

インストール手順は「[🔗Windows10/WSL Ubuntu 18.04ARMのGCCコンパイル環境を構築する](#)」記事を参照。

コンパイルに必要な環境変数

rtk_kernelをコンパイル実行するには、下記の環境変数が設定されている事が必要。

環境変数	説明	例
BD	T-Kernelソースのベースパス	/C/work/rtk_kernel/tkernel_source
GNU_BD	ARMコンパイラのベースパス	/C/Program Files (x86)/GNU Tools ARM Embedded/6 2017-q2-update

環境変数の設定

\$HOME/.bashrc に下記のような設定を追記しておくと便利。

```
export BD=/C/work/rtk_kernel/tkernel_source
export GNU_BD='/C/Program Files (x86)/GNU Tools ARM Embedded/6 2017-q2-update'
```

rtk kernel

From:
<https://www.yokoweb.net/dokuwiki/> - 新石器Wiki

Permanent link:
https://www.yokoweb.net/dokuwiki/develop/rtk_kernel/rtk_kernel-build-toolchain?rev=1578373639

Last update: 2020/01/07 14:07

